

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公開番号】特開2015-54097(P2015-54097A)

【公開日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-019

【出願番号】特願2013-189007(P2013-189007)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め定めた始動条件の成立に基づき補助遊技を実行し、該補助遊技の結果に基づき所定の遊技価値を付与することが可能な遊技機において、

前記補助遊技に関連した演出画像を表示することが可能な第 1 表示装置と、

前記第 1 表示装置の前方で移動可能に配設され、前記補助遊技に関連した演出画像を表示することが可能な第 2 表示装置と、

端部からの光の照射に基づき所定の模様が浮かび上がる導光板と、  
を備え、

前記導光板は、前記第 1 表示装置の前方に位置し、前記第 2 表示装置が後方に位置した際に当該第 2 表示装置の演出画像に重ねて前記模様を表示可能にしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、始動条件の成立に基づき補助遊技を実行し、該補助遊技の結果に基づき遊技者に遊技価値を付与する遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来の遊技機、例えば、パチンコ遊技機やスロットマシンにおいては、予め定められた始動条件の成立に基づき補助遊技（例えば、複数の識別情報を変動表示してから停止させる変動表示ゲームや内部に特定領域を設けた変動入賞装置を開状態に変換するゲームなど）を実行し、該補助遊技の結果に基づき遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させる

などの遊技価値を付与するものが一般的である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

このような遊技機の中には、表示装置を第1表示装置と該第1表示装置の一側方に配設される第2表示装置とから構成し、第2表示装置を第1表示装置の前方に重なるように支軸を中心に回転させることで、第2表示装置の表裏を遊技者に視認させるようにしたものが提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2011-087706号公報

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところで、上記特許文献に記載された遊技機においては、第2表示装置の演出効果が限定されたものであった。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、上記した問題点に鑑みてなされたものであり、第2表示装置の演出効果を高めることで遊技の興趣を向上させることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 9 】

本発明の代表的な一形態は、予め定めた始動条件の成立に基づき補助遊技を実行し、該補助遊技の結果に基づき所定の遊技価値を付与することが可能な遊技機において、前記補助遊技に関連した演出画像を表示することが可能な第 1 表示装置と、前記第 1 表示装置の前方で移動可能に配設され、前記補助遊技に関連した演出画像を表示することが可能な第 2 表示装置と、端部からの光の照射に基づき所定の模様が浮かび上がる導光板と、を備え、前記導光板は、前記第 1 表示装置の前方に位置し、前記第 2 表示装置が後方に位置した際に当該第 2 表示装置の演出画像に重ねて前記模様を表示可能にしたことを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 0

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

## 【 手 続 補 正 1 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 1 1 】

本発明の代表的な一形態によれば、演出効果を向上させて遊技の興趣を向上させることが可能な遊技機を提供することができる。